

科目名	工作実習	英語科目名	Manufacturing practice		
開講年度・学期	平成21年度・通年	対象学科・専攻・学年	機械工学科1年		
授業形態	実習	必修 or 選択	必修		
単位数	3単位	単位種類	履修単位(90h)		
担当教員	伊澤 悟、川村壮司	居室(もしくは所属)	機械工学科棟1階		
電話	0285-20-2211、20-2201	E-mail	izawa@oyama-ct.ac.jp		
授業の達成目標					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 工作機械の基礎的な操作ができること.</li> <li>2. 工作実習に関する基礎の理解ができること.</li> </ol>					
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法					
課題および提出レポートの内容を設定水準で評価する.					
評価方法					
各実習内容についての課題とレポートの内容を評価して60%以上を合格とする					
授業内容					
班編成のもと、1テーマを6週で完了して年間5テーマの内容を行う。班ごとの担当指導員により実施.					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 鍛造作業(基礎、スコヤーの製作) (6週)</li> <li>2. エンジン分解・組立作業(ガソリンエンジンの分解・組立) (6週) 工具の扱い方、分解・組立作業</li> <li>3. 旋盤作業(基礎、段付き軸の製作) (6週)</li> <li>4. 仕上げ作業(基礎、アンビルピースの仕上げ) (6週)</li> <li>5. 計測および工作基礎(基礎、板金作業) (6週)</li> </ol>					
(学年末試験)	工作、鍛造、溶接、旋盤、仕上げ、計測				
教科書	作業前に配布されるテキストを使用				
参考書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平井三友、和田任弘、塚本晃久著「機械工作法」(コロナ社)</li> <li>2. 「安全の手引き」(小山高専ものづくり教育研究センター)</li> </ol>				
小山高専の教育方針①～⑥との対応	②				
技術者教育プログラムの学習・教育目標					
JABEE 基準1の(1)との関係					
カリキュラム中の位置づけ					
前年度までの関連科目					
現学年の関連科目					
次年度以降の関連科目					
<table border="1"> <tr> <td>機械工学基礎</td> </tr> <tr> <td>機械工作法</td> </tr> </table>				機械工学基礎	機械工作法
機械工学基礎					
機械工作法					
連絡事項					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各テーマ6週ごとにレポートを提出すること.</li> <li>2. 実習は実技を重んじるため、病気、事故等以外に休まないこと. (休む場合には、予めその理由を担当教員に連絡すること.)</li> <li>3. 定期試験は実施しない.</li> <li>4. 機械系科目の全分野に関わる重要な実習科目である.</li> </ol>					
シラバス作成年月日					
平成22年2月28日					